

町長と語るタウンミーティング 議事録(概要)

日 時：令和6年4月14日(日) 19:00~20:15

場 所：稲美町立コミュニティセンター ホール(役場新館4階)

テーマ：これからの自治会・町内会

参加者：8人(うち、子ども0人)

【司会】

本日は、第4回目となる町長と語るタウンミーティング。テーマは「これからの自治会・町内会」。稲美町には、現在65の自治会があり、地域づくり・まちづくりにご尽力をいただいているところだが、近年、稲美町に限らず、自治会の役員のなり手不足や自治会離れといったことが課題となっている。また、本日のテーマには様々な切り口があると思うので、皆さんと町長で活発な意見交換ができればと考えている。

【町長】

昨年から、タウンミーティングを開催させていただいている。自治会や地域に出向いて話を聞くという方法もあるが、このタウンミーティングでは、テーマを決め実施している。より深い話し合いができる貴重な機会をいただき、感謝している。

今日は、自治会や地域のあり方について、普段、皆さんがどう思われているのか直接お聞きしたいと思っている。いろいろな発言が出ると思うが、誰かが誰かの発言を否定するのではなく、そういう考えもあるんだなと捉えてもらいたい。今日のテーマを決定したときから、皆さんからどのようなご意見が出るのか非常に楽しみにしている。

まず最初に、稲美町の自治会の加入率は約83%。市街地にいくほど加入率は下がる傾向にある。国の標準的な統計数値が、兵庫県にぴったりとあてはまるため、兵庫県は日本の縮図と言われることがある。また、その兵庫県の統計数値に、稲美町は近い傾向があるので、稲美町は日本の縮図的なまちだと思っている。

【参加者】

私は、今年から自治会長の役割をいただいている。この会場には、同じ自治会で以前から役員をされている方がおられるが、こうした方にいろんなことをアドバイスい

ただきながら新年度が始まったところだ。正直なところ面倒くさい。ただ、自治会長としてお声を掛けないといけないところを回ってみると、すごく嬉しいなと思ったことがあった。ほとんどの皆さんが「いつでも言ってよ。手伝うからね。」と言ってくださった。この地域には素晴らしい文化があると思った。

ただ、自分より若い世代の方には、このやり方では次へのバトンを渡せないなと思っている。自治会がすごくいい仕組みだと思ったのは正直なところ。こういうきっかけがないと、普段は喋らない人とも喋ることができる。しかも、助け合っているという土壌がちゃんとそこにある。ただ、自治会を続けていくには、今のやり方から変えないといけないことが山ほどあるというふうに感じている。

【町長】

自治会は大切な仕組みだけれども、変えていけるところは変えていこうというご意見だと思う。新しい取り組みのアイデアでもいいし、こんなところを変えたらいいんじゃないかとか、こんなところを変えたよというところがあれば、教えていただきたい。

【参加者】

昨年の夏、町外から引っ越してきた。それまで、あちこちを転々としてきたので、たくさんの自治会を見てきたが、稲美町の自治会費は高い。年間15,000円以上かかる。その割にやることも多い。自治会役員の方もいろいろと工夫しておられ、会議は夜7時半からしているとおっしゃられるが、その時間にはまだ仕事から帰っていない。自治会活動のために仕事から早く帰れるかという、そうもいかない。古い体質の地域だと思っていたので、引っ越してきて、結構、驚くことが多く、やっちゃったなと思っている。外からだ、会費がいくらとか、ゴミ捨ての当番はこうとか、自治会活動はわかりにくい。引っ越す前に何人かに聞き、そういうのはないよと言われてたが、いざ引っ越してきたらあったりして、ちょっと面食らった。もうちょっとわかりやすかったら良かったのになと思っている。家を建てようとしている若い人で、明石市は土地が高く、不動産屋さんに稲美町はいかがですかと薦められる人もいると思うが、自治会活動がこんな感じだと言うと驚く方も多くいると思うので、もったいない。事前に、もう少し自治会のことのわかりやすくなったらいんじゃないかと思う。

【町長】

冒頭で、稲美町はどちらかというと平均的だと言ったが、その辺りからすると少し遅れていると感じられたということかと思う。私がいろいろと調べたところでは、市町によっては自治会がないというところもあるし、自治会への加入率が低くても成り立っているところもある。また、年会費が15,000円というのは、平均的かなと思う。私の住んでいるところは、自治会費が月額1,000円で、年間12,000円。

【参加者】

私は、東日本から西日本まで引っ越してきたが、今まで住んだところでは、月額が1,000円を超えたところはなかった。でも、稲美町に家を建ててしまったので、ここからは逃げられない。

【町長】

地域で自治会活動を見直す中で、今までの形から変えて、会費を安くすることはできると思う。また、会員から徴収した自治会費の配分が、特定の人や団体に偏っているものを、少し割合を変えることでも、自治会費を下げることもできるかもしれないし、人口が増えている自治会であれば、もう少し自治会費を安くしても運営できるかもしれない。

【参加者】

私は自治会に加入しているが、自治会への入会金が30,000円ですごく高いと感じている。自治会費は、年額12,000円。聞くところでは、ある自治会は、新しく自治会に加入するときの入会金が160,000円と聞き、衝撃を受けた。一体どうしてそんなに高くなってしまうのか。

【町長】

各自治会には、集会所があり、集会所を建てた際に地域の皆さんが建築費を負担したとか、長年に渡って積み立てをしてきて建設したので、それ相応の金額を新しく自治会に加入された方にも支払っていただくという考え方がある。そのようにしている自治会は、いくつかある。公平性を突き詰めていくことで、入会金といった形で費

用負担を求めている自治会もあるが、それもどうだろうということで入会金の制度を辞めた自治会もある。これについては、自治会内の話し合いで決めていただく必要がある。

先程、発言があったように、自治会のことをわからないまま家を建ててしまったということで良いのか。自治会費や自治会の運営方法などをオープンにし、引っ越しを考えている人を選んでもらえる自治会になりましょうよと。もっと言うと、オープンにしていかなないと、選んでいただける自治会にならなくなってしまいますよとっていく必要もある。自治会内で真剣に話していかなないと、自治会に提言をしてくれる人が減っていつてしまう。

【参加者】

私の自治会の入会金30,000円は、どういう意図で徴収されているのかはわからないが、私はこの地域で育ち、馴染みがあるので何とか支払うが、新たに移り住んで来る人にとっては、入会金30,000円は高いと感じている。

【参加者】

稲美町ホームページに移住・定住のページがあるが、そこで自治会への入会金などの情報を提示してはどうか。住む前に入会金や自治会費がわかれば良いと思う。

【参加者】

ゴミ捨て場の管理などがあるので、自治会費が徴収されることは理解できるが、引っ越してきただけで、なぜ、入会金を求められるのかがわからない。自治会への加入の勧誘に来てくださった方も、その場で入会金の意図を即答できなかった。入会金が何に使われるのかがわからないまま支払ってしまったが、私が住んでいる地域では、外国人世帯以外は皆さん自治会に加入していると言われてしまうと、嫌とは言えなかった。

【参加者】

私の自治会は、世帯数がすごく少ない。自治会費は、年額12,000円で、半期分ずつ支払う。私は、いろいろと自治会の役員をさせてもらったが、予算・決算については、役員会で内訳を確認する。そうすると、もっと自治会費を安くしてもいいのでは

ないかという意見もある。近年は新型コロナの影響があり、ほとんど親睦活動をやっていたが、それらがまた復活するのかなとも思っていたが、もうやめておこうとなっている。昔から、盆踊り、カラオケ大会、忘年会などの自治会行事があったが、軒並みなくなっていった。一応、予算は組んであるが実施せず、来年こそ実施しようと言いながら実施できていない状況だ。昨年の役員会で、今年度の親睦活動は実施しないこととなった。

【町長】

現在、町のホームページでは、自治会の歴史、イベント、年間の活動などの概要を掲載している。

入会金の意図の説明を求めたことに対し、こういう理由でこれだけの金額を徴収しているときちっと答えられないのでは、やはり新しく自治会に加入しようとする人が心配になる部分があるということはある。自治会費についても、こういうことに使っているからこの金額なんだと公明正大にされていれば、理解を得やすい。また、一度、自治会費を値下げしてしまうと、なかなか値上げできないということも理由にあるだろう。そうした考え方で自治会費が下がらないのかもしれない。

私は、町長就任以来、町の大きなイベントである「ふれあい祭り」「花火大会」「いなみ新春万葉マラソン大会」について、コロナ禍を経て、全て形を変更して実施している。これについては、賛否両論あるが、今の時代に合うような形に変え実施している。形を変えたことで規模は小さくなったが、それがまた大きく成長すればいいなと思っている。また、一度なくなってしまっても、本当に必要なものは必ず復活してくると思っている。その時々に合わせて変えていくということが、今、行政には求められているし、自治会活動にも求められているのではないかと思っている。自治会内の各種団体への補助金についても、毎年、同額ではなく、事業の内容に合わせて補助金を出すことにするなど、自治会内にも、同じように思っている人がたくさんいらっしゃるって、今まで当たり前だったことが変わっていくかもしれない。また、昔は実施していたイベントを復活したいということになれば、その時は、必要な予算を自治会内で協議していけばよいと思う。

私の自治会も盆踊り、夏祭りがなくなっていたが、自治会や各種団体が実施するというのではなく、私達が段取りをするので村の中でこういう活動をしてもいいですかという声が自発的に上がってきた。最初の年は、手弁当のような形で実施したが、今

年4月の自治会総会では、自治会から予算が付いた。必要ないものはなくしたらいいし、なくなっていたものでもまたやりたいと言えるような、そんな活動が一番いいんじゃないかと考えている。

【参加者】

町のホームページを拝見させていただき、今回、初めてタウンミーティングに参加させていただいた。私は、自治会の会計の役員をしており、5年目を迎えている。先程、公会堂の積立金とか入会金の話が出たが、私の自治会に関しては、ほ場整備をしたときに公会堂を建設した。自治会に加入しておられる人からは、以前から公会堂の積立金を徴収していた。公会堂を新しく建設した後に自治会に加入された人からは、積立金に代わるものとして5万円を徴収していた。ただ、ここ何年かだが、子ども世帯が実家の近所に家を建てた場合に、なかなか自治会に入ってもらえないということがあった。なぜ加入してもらえないのかと考えたとき、その理由の一つとして、自治会に加入するときの入会金がネックとなっているのではないかという話になり、一昨年、自治会総会で協議し、入会金を徴収しないこととした。ところが、それ以降も、子ども世帯に自治会へ加入していただけない状態が続いている。

国は、異次元の少子化対策と言っているが、市街化区域にある自治会では家を建てやすいが、私の自治会は市街化調整区域にあり、自分の土地で、かつ、自分の子どもであってもなかなか家が建てられない。ましてや、地域の外から来た人に、家を建てたいからこの土地を売って欲しいと言われてたとしても許可されないのが現状。稲美町の人口は31,000人を切っているのでも、市街化調整区域においても、誰でもどこにでも家が建てられるようにしていただけたらと思う。

【町長】

ほ場整備をしたところに関しては、家を建てられるようにすることは制度上難しい。ただ、2年近く年月はかかるが、農家の方の分家住宅などであれば、農地の状況によっては建てるのが可能になる場合もある。しかし、地域の外から来た人が家を建てるというのは、やはり難しい。これまで町内のいろいろな地域で地元の協力をいただきながら進めてきた「田園集落まちづくり」という制度では、自治会ごとに地域の計画を作り、家を建てやすくなるよう取り組んでいる。令和6年度からは、この制度を全町で取り組んでいくが、この取り組みには各自治会や地域の皆さんの協力が必要とな

る。市街化調整区域では簡単には家などが建たない状態であり、しかもその地域に住んでいる皆さんは、地縁や血縁関係のある方々も多いので、今までは隣にどんな人が移り住んで来るかわからないということはなかったが、新しく地域に来ていただいた人を快く受け止めましょうという気持ちを持っていただくことがこの制度の大前提となってくる。あらためて説明会をさせていただくが、自治会内でも議論していただき、ぜひご協力をいただきたい。

【参加者】

私の自治会でいうと、住民のほとんどが60代。昨年の自治会役員の中では、私が最年少だった。高齢化が進んでいる。あと10年もすると、限界集落化してしまう。高齢者が1人で住んでおられる家もあるし、大丈夫かなと思っている。結局、住んでいる人の意識を変えていかないといけない。私の自治会には、本当に新しい住民が何十年と入ってきていない。ただ、新しい住民が入ってくるとなると、みんな抵抗があるのかなとも思う。だが、結局のところ、若い人たちが入ってこない、自治会活動としても衰退していくばかりだと感じている。

【町長】

例えば、ウインドサーフィンが大好きで、加古大池にもよく来ており、何なら加古大池の横に住みたいと考えておられる人もいらっしゃると思う。毎朝、加古大池を散歩できるし、すごく良いところなので、私は大好きだ。本当に、住んでみたいと思った人が住めるようになったらいいなと思う。それぞれの自治会の良いところをどんどん出しつつ、自治会費などもオープンにすることで、今まで地域住民にとっては当たり前だったものが、他の地域の方にとっては必ずしもそうではないということがわかれば、変えていけると思う。オープンにしていくということは、非常に大切なことだ。

【参加者】

私の自治会は、自治会費の年額が12,000円、祭りの積立金が1,000円、自治会内の観音さんを維持していくための積立が1,000円で、年間で計14,000円を集めている。自治会費が12,000円というのは、昨年の自治会アンケートでは、65自治会のうちの60%ぐらいだったと思う。私の自治会の自治会費はそんなに高くないと思っているが、自治会

費を下げる要素はある。コロナで催し物がなかったということもあるが、協賛金や福祉協議会の募金の徴収などが年に5回ぐらいある。もし、それがなかったら20万～30万円の支出が減るので、自治会費を安くできるという人もいる。自治会として、電気代や水道代がかかってくるのは仕方がないと思うが、校区まちづくりの会で祭りを開催するとなると、実行委員会のメンバーに自治会が入り、それぞれに店を出したりする。実行委員会は、自治会に対し30,000円の協賛金を徴収されるが、自治会では、暑い時期にみんなに大変な目を合わせて店を出している。みんなに頭を下げて協力をお願いし、金にもならないことをやっているのに、協賛金を30,000円徴収されるのはなぜかと疑問を感じている。逆に30,000円欲しいぐらいだ。こういうところで、もう少し自治会費も安くしていけるのではないかと感じている。

もう一つは、役場にも相談したが、以前、自治会には約110軒あったが、今年は102軒になった。昨年1人が自治会を退会され、今年は7人が退会された。いずれもお年寄りの方々ではない。子ども手を離れ、自治会に用はないから退会するということだった。自治会を退会していく人には、デメリットがない。逆に、自治会を退会する人にとっては、自治会費を払わないで済むというメリットしかない。私の自治会では、溝掃除を実施する場合、参加できない人からは出不足金として10,000円徴収している。そうでもしないと参加してもらえない状況だったためだ。自治会を退会した人たちは、町に税金を支払っているのだからゴミの収集をするのは当たり前だといって、自治会が設置しているゴミステーションの横に、小ぢんまりと自治会を退会した人たち用のゴミ収集場所を作っている。ゴミ収集車は、自治会を退会した人たちのゴミも同じように取りに来てくれる。そういう状況を自治会員が見たとき、自治会を退会しても全然デメリットがないのであれば、自治会の付き合いがちょっと後ろめたいところはあるが、そこを我慢していたら生活するには何も問題がないとなってしまう。そんなことがあったので、自治会に入っているメリットは何かなと考えていたときに、今日のタウンミーティングがあったので、どんな話をされるのかなと思い、興味があり参加させてもらった。町として、自治会に加入していない人たちに対し、デメリットは設けられないものか。

【町長】

行政としては、自治会への加入は強制ではないという話をしている。先程、ゴミステーションの話が出たが、町は、ゴミステーションに出していただいたゴミを集めに

行くという仕組みをとっている。先程、お話があった自治会についても、ゴミステーションの横であれば置いてもいいこととし、町もゴミステーションの横に集めてあるのであればそれも集めていくという形を取っており、ゴミ処理については全然デメリットにはなっていない。ただ、自治会によっては、自治会への加入とゴミステーションを使うことの問題は別で考えているところもある。行政としては、自治会への加入については自由だとしつつも、自治会に加入しましょうと、今後も言い続けていく。

ある一定の年代では、自治会活動のメリットを受けられない年代もあるが、子どもがいる時には子ども会からの恩恵を受けていたはずだし、年老いてくるとシニアクラブといったところでも恩恵が受けられるので、そういう意味では、自治会は、集めたお金を効率よく必要なところに再分配する良い仕組みだと思っている。

本人が後ろめたい思いをしてでも自治会を退会するんだと言われてしまうと、現実的にはペナルティのようなものはないし、町がペナルティを設けることはできない。ただ、先程、お話があった地域の祭りで徴収されている30,000円の協賛金は、おそらくステージを組んだり、ガードマンを雇う経費として使っているのだと思う。行政としてはまちづくり活動を推進しているのに、自治会から協賛金を集めないと実施できないということに問題があるのかもしれない。例えばだが、地域の祭りに対し、町から費用を補助すれば、皆さんも気持ちよく活動いただけるようになるかもしれない。それには、議論を重ねていかないといけない。地域によっては祭りが、そのように運営されているということを把握できていなかったが、自治会に費用負担を求めてまでするものではないのかもしれない。地域活動の振興という視点で考えていかないといけない話だと思う。

【参加者】

店を出しても、儲かるわけでもない。店のお手伝いをさせていただく方には弁当を食べてもらうくらいしかできないが、やはり子どもたちにいっぱい来てもらって、喜んでもらえるということがあり、参加をさせてもらっている。30,000円の協賛金については、自治会からはまたかと言われており、町から協賛金の分を捻出してもらうようにってはどうかという話もあった。

【町長】

議会の一般質問では、まちづくり活動の補助金をもっと増やしたらどうかというお声もいただいている。今日は、現実を教えていただき、非常に良かった。

【参加者】

私も、数年間、校区まちづくりの会の祭りのお手伝いをした。朝早くから集まるとは言え、暑い時期のため、お茶やパンを出してもらっていた。そういうところに協賛金が使われていたのかなと思った。

【町長】

町の補助金要綱では、飲食費に補助金は使えないという規定があったりするが、本当に必要なものについては、整理が必要だと思う。

【参加者】

校区まちづくりの会は、スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、体育館での屋内競技などを実施しているが、そのときの商品代などに町の補助金を活用しているのだろう。

【町長】

町が、まちづくりに出している補助金の額は、ここ数年ずっと変わっていないので、各地域の負担金などで成り立っているというところもあるのだと思う。イベント実施の原資が、適切なところから出ていないのであれば、見直していった方がいい。

【参加者】

私の住んでいる自治会の周りには工場等がたくさんあり、騒音などのトラブルも結構ある。そこで、自治会の役割についてお聞きしたい。私の家のすぐ裏は隣接市の市街化調整区域で、私が自治会に加入した当初は何も建っていなかったが、どんどんと工場が建ってきた。そこからの騒音が凄く、自治会に相談し、対応してもらってはいるが、それでも解決していない。騒音問題に対応することについては、自治会の役割なのか、町の役割なのか、個人の問題として対応しなければならないのかと、いろいろと考えている。もし、自治会が対応してくれるというのであれば、自治会はそうした地域の問題解決のためにあるのかなと思える。そうでないのであれば、子どもが小

さいうちは子ども会、高齢になるとシニアクラブという限られた年代ではメリットは確かにあるのだが、それ以外ではメリットが感じられなくなってしまう。

【町長】

お話のあった地域においては、工場の問題やトラックの騒音の件もお聞きしている。行政としては、企業の事業活動に対し制限をかけることができないか、何かいい手立てはないのかと考えている。ただ、なかなか自分の持っている土地で行う事業活動に対し、制限ができない。通常、近隣の住民の皆さんに迷惑をかけない範囲で事業活動をするというのが仕事の基本だと思うが、法的には、朝早くからトラックを動かしても問題がない。我々としても、何かいい方法がないかと探しているところ。行政としては手出しできなくても、住民の皆さんが反対運動を起こしていくということも方法の一つ。自治会の中でも、工場に隣接している家では困っているが、工場に隣接していない皆さんは困っていないかもしれない。だが、自治会として住民が一緒になって声を上げることも自治会のあり方だと思う。そういった意味では、住民の声がたくさん集まるほど相手方にも届きやすくなるので、町としても協力をさせていただきながら、事業者に対し、こうあるべきだと訴えていく方法はあると思う。引き続きの課題だと認識している。

【参加者】

工場からの騒音の問題が起こったのは、十数年前。私の家の裏は隣接市だったので、私個人で市の行政窓口や市長へ手紙も出した。議員にもお願いしたが、残念ながら力になれませんでしたという回答ばかりだった。稲美町にも、対応してほしいと訴えてきたが、先方にはお願いするしかないと言われた。自治会には、地域を守るということで動いてもらえないかとお願いし、現在、対応してもらっている。これが成果として出たら、自治会はやはり必要なんだなと感じられると思う。

【参加者】

私の家の周りは、自治会から退会している人も多い。あまり村という感じのところではないので、自治会から離れる率はさらに高くなってくると思う。子どもがいなくなり、騒音問題も抱えているとなれば、誰も住まなくなるのではないかという気がしている。今の状態であれば、自分の子どもたちにも、ここに住んでほしいとは言いきく

い状況だ。切実にそう感じており、何とかしていただきたい。稲美町と隣接市が連携して取り組むことはできないのか。家の裏は、アスファルトではなく、セメントの粉のようなものがまいてあるので、ホコリもすごい。健康被害も少し気になるところだ。

【町長】

行政は、法律に基づかないと相手に対し何もできない部分がある。まずは法律で何か対応できないかと探している。法律で対応できなくなると、お願いしかなくなる。町長が行くとか、自治会で動くなどで対応したり、新しい条例を作るということも考えられる。町の条例でどこまで拘束できるかという問題もある。

【参加者】

私の住む自治会は、新しく自治会に入られる方に入会金として100,000円を徴収していたが、しばらく前から入会金も徴収しなくなっている。その辺、バランスが崩れているので、少し心配しているところだ。また、自治会を退会された場合は、入会金として徴収した100,000円を返すことにしている。私の自治会の軒数は101軒だったと思うが、自治会に入っておられない家が約15軒ある。問題だと思うが、解決策がない。自治会費は、月2,000円で、年間24,000円。その内訳としては、実質1,500円の自治会費と、施設の修理費として月500円を積立している。自治会行事については、役員の負担にもなるので少しずつ減ってきている。自治会費のことは問題にはなっていないが、自治会に入っていない方が少し出てきており、将来的には、高齢者がみんな退会される可能性があるので、問題だと思っている。ゴミについては、自治会未加入者は、自治会とは別の収集場所を作られている。参考にだが、他の自治会では、ゴミ集積場所が使えないと不便だということで、自治会費相当額を払っていただければ、自治会の設置するゴミ集積場所を使うことを許可しているところもあるようだ。

【町長】

自治会に入っていない人であっても、ゴミ集積所の掃除当番には入っていただくとか、自治会費は月1,000円だがゴミ集積所の建設費の積立として月200円を徴収しているというところもあると聞いている。今日、皆さんにお聞きしただけでもそれぞれの自治会運営に差がある。運営方法の工夫をされているところ、変えていっておられる

ところもある。自治会は、自ら治めると書くように、皆さんの声も自治会の中で反映されるべきものだと思うので、声があったらそれを反映させていくことが必要。行政も同じで、住民の皆さんの声を反映させていく場として、今日のようなタウンミーティングの機会をいただいたからこそ、お声として届いたところもある。責任を持ち、しっかりと対応していきたい。皆さんの自治会も、声を上げればどんどんと良い方向に変わっていくということが実感できるような、そういった自治会活動になっていけば良いと思っている。

【参加者】

今、いろいろな地域で自治会が管理しているゴミステーションなどの問題が出てきていると思うが、なぜ、そういう流れができていくかというと、個人の権利が意識されているからだと思う。本来、自治会は任意団体だから入っても入らなくても自由であり、強制力もないということが前提だ。昔は、地域の皆さん全員が自治会に入っており、それで成り立つ仕組みだった。自治会の機能の一つには、行政の末端の仕事を自治会が請け負っている部分もあると思う。ただ、個人の権利が意識されだし、自治会に入るのも入らないのも自由という時代になってくると、全員が自治会に入ることが前提の仕組みだったものがバランスが崩れ、問題が出てきている。私は、自治会への加入は任意のため、必ずしも全員が自治会に入らなくてもいいと思っている。魅力がある自治会にする努力が必要だ。地域の全員が自治会に入らなくても成り立つような仕組みを作っていけないと思っている。

例えば、若い人が町外から転居してきた際に、自治会費や入会金が高いので、私は自治会に入らないと言ったら、小学校の登校班に入れませんかよとか言われたりする。そういう問題が出てくるので、入りにくい自治会というのも問題だと思うし、自治会に入らなかったとしても、生活に問題が出ないような仕組みであるべきだと思う。登校班については、教育委員会に相談しても、教育委員会には強制的に指導する権限がないと言われてしまう。だが、集団登校するかどうかは、結構、校長が判断していると思う。強制力はないにしても、指導はできるので、校長がお願いしますと自治会に言えば済む話だと思う。

【町長】

登校班については、いくつかの方法があると思う。町長や校長が、こうあるべきだと言うことも一つの方法だと思う。また、そういったやり方ではなく、最低限のところは行政でカバーしていくというのも一つの方法だと思う。皆さんに恩恵があるところは税金でカバーするので、その分の税金はしっかりと納めていただき、その一方で、自治会費は下げていくように変えていくこともできる。私も登校班のことについて、いろいろと調べたが、全国には登校班がない地域もある。ただ、安全な登校のための指導をするということで、4月の1か月間だけ登校班で登校し、それ以降は登校方法は自由としているところもある。でも、結局は子どもたち同士で集まって登校しているようで、自治会に入る・入らないの話とは切り分けた考え方ができるのであれば、それもいいなと感じた。

【参加者】

保護者同士の話では、自治会、そして、子ども会に入らないのであれば、登校班には入れないという話が出てくる。そこは町長から、子どもの安全を守るためには登校班に入れないということはおかしいですよとメッセージを発信することが必要かなと思っている。

【参加者】

自治会に入っていないと一緒に登校できないという発想がどうかしており、これから変えていかないといけないなと思った。大人がそれを言ってどうするのだ。次の世代の自治会ということを考えると、今の自治会はボランティアでたくさんのお願いしており、また、やらないといけないことがあまりにも多すぎる。みんな面倒くさがって入らない。面白いとか、楽しいなと感じてもらい、自治会ってめっちゃおもしろそうやんと言って入れたらいいと思う。そうすると、もっとパワーが生まれてくるのではないかと思う。

私は、今年は自治会長として初年度なので、まずは、今までやってこられたことを全部その通りにできるだけやってみようと思っている。その上で、今までやってこられた先達の皆さんのやり方を否定するわけではないが、来年はこれはいらないのではないかというような判断をしていきたいと思っている。

【司会】

まだ話し足りないこともあるかと思うが、本日はここまでとさせていただきます。

本日は、貴重なご意見を多くいただきありがとうございました。受付でお配りさせていただいたアンケートについては、可能な範囲で提出にご協力をお願いします。